



INVESTORS GUIDE 2026

KUNIMINE INDUSTRIES CO., LTD.

資源を科学して未来のニーズを創造、 産業の発展、社会インフラ整備に貢献



当社グループは「経世済民」の企業理念のもと、1943年の創業以来、貴重な地下資源であるベントナイトの採掘・製造・販売を軸に、様々な産業分野で事業展開し、業界のリーディングカンパニーに成長してまいりました。

このたび、私、友山貴之が代表取締役社長に就任し、新たな経営体制のもと、当社グループのさらなる成長に向けた取り組みを開始いたしました。これまでの経営基盤を引き継ぐとともに、企業価値の一層の向上に向け、グループ一丸となって取り組んでまいります。

また、当社グループは、2026年度を初年度とする3か年の新中期経営計画を策定いたしました。当社の強みを一層発揮しながら、社会課題の解決と顧客の価値創造に貢献することで、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 友山 貴之

業績サマリー

グループ全体

● 3期連続増収増益

過去最高の売上高
営業利益率前期比 1.2pt 改善 (8.2%→9.4%)
ROE 1.1pt 改善 (5.0%→6.1%)
堅調な農業需要の積極的な取り込み

ベントナイト事業

● 増収増益

素形材分野の価格改定効果、環境建設分野の地熱発電向け需要が好調に推移したことにより増収増益

クレイサイエンス事業

● 減収減益

クニピアの化粧品向けは需要増加も、一般工業用電向け需要が好調に推移したことで減収減益

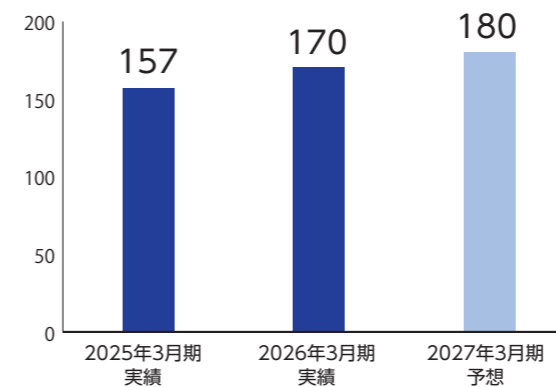
アグリ事業

● 増収増益

受託加工において除草剤等の需要増加や原料販売の価格改定により大幅な増収増益

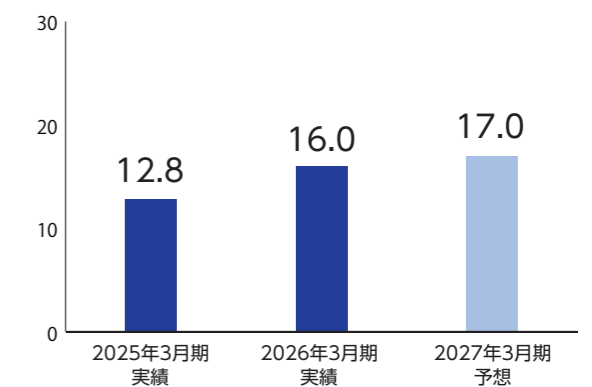
売上高 170億円

(2026年3月期)



営業利益 16.0億円

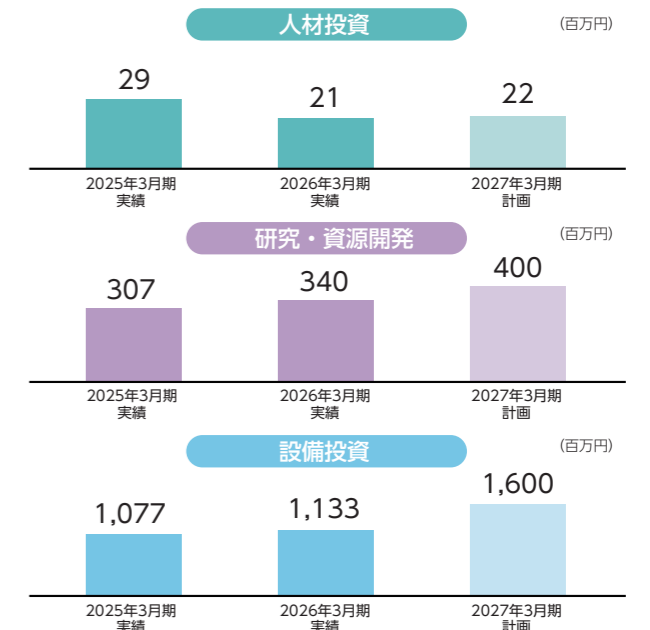
(2026年3月期)



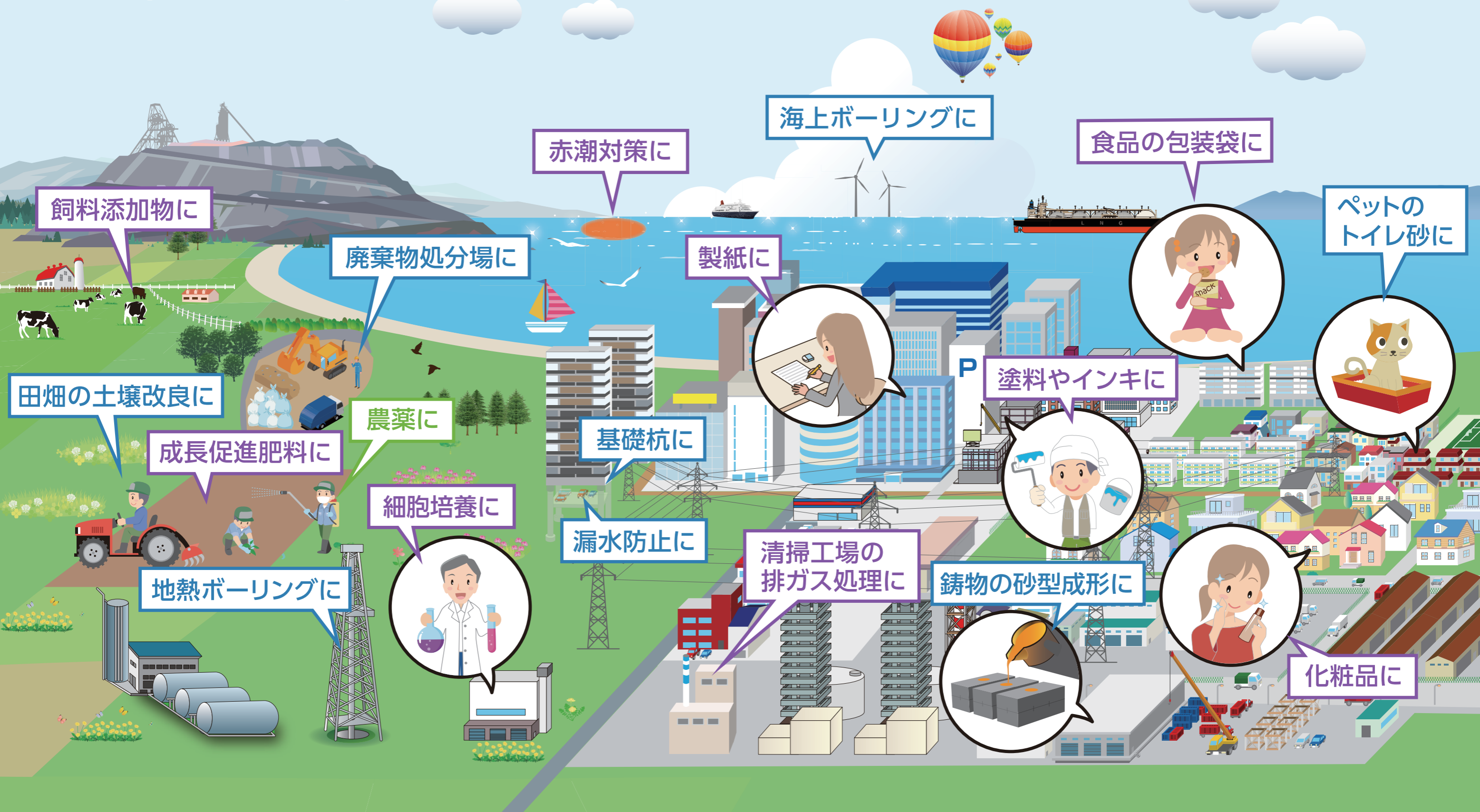
投資政策



投資計画の推移



暮らしの中のクニミネ工業



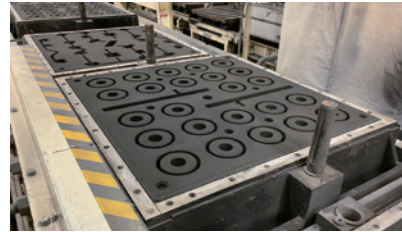
事業部門紹介

ベントナイト事業部門 売上高 11,842百万円

素形材分野 売上高 7,185百万円

自動車や産業機械、建設・農業機械など、あらゆる工業製品で使用されている鑄造部品の多くは、ベントナイトを粘結材にした砂型で鑄造する生型鑄物という製法で作られています。ベントナイトで成形した砂型に溶かした鉄を流し込み大量の部品素材を効率良く製造することができます。また、ベントナイト製品の販売だけでなく、黒磯研究所での鑄物砂分析による不良対策や歩留まり向上などもサポートし、お客さまの様々なニーズに応える当社独自のトータルエンジニアリングサービスも提供しています。そして昨今、環境対策にも力を入れており、産業廃棄物の低減・リサイクルや、鑄物工場から排出される有害な重金属類を抑制する商品の展開にも注力しています。

海外市場においては、KUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD.を通じて東南アジアへ進出する日系企業との連携を強め、海外ユーザーへの対応と拡販に注力してまいります。



当社顧客の鑄型



当社研究所での鑄物砂分析の様子

主力商品

- クニゲルVAS
- クニボンドM]シリーズ
- クニボンドTY
- クニボンドTY]シリーズ
- ネオクニボンド

環境建設分野 売上高 3,800百万円

ベントナイトの特徴的な性能として、水への分散時に発現する増粘性や土壌混合時に発揮する遮水性を活かして、建物の基礎となるコンクリート杭を造成するアースドリル工法での掘削材や、管理型廃棄物処分場での遮水工事での遮水材として、幅広い工法でベントナイトが使用されています。今後は、脱炭素化で注目される地熱発電や海底資源の調査ボーリングでの掘削剤としての使用拡大も期待されています。さらに低レベル放射性廃棄物処理用途では、環境負荷も少なく長期安定遮水性能に優れたベントナイトのニーズが高まってきております。

引き続き、国土強靱化に向けた国内主要インフラ整備事業などへの継続的な取り組みに加えて、SDGs関連の分野にも積極的に営業活動を展開してまいります。



場所打ち杭(アースドリル工法)の現場

主力商品

- クニゲルV1
- クニゲルGT
- クニシール
- クニゲルV2
- クニフォースPX
- クニシート
- クニゲルGS
- クニキャップTG

ペット関連分野 売上高 855百万円

ベントナイトの持つ高い吸水性と粘結性を活かしたペット用トイレ砂製品に参入して40年近く経ちました。近年はペットに対する飼い主さまの意識も大きく変わり、もはやペットは生活を豊かにする家族の一員であると言えます。そのような飼い主さまの意識変化の中、多様化する生活スタイルに対するニーズから従来の固まる猫砂に対してシステムトイレのシェアが増加しております。当社ではベントナイトを主原料とし、市場の既存商品にはない高い消臭性能を実現したシステムトイレ用のリフィルペレット「システムトイレ用珪物ペレット」を開発し、2026年度下期に販売を開始いたします。

当商品は米の収穫後に大量発生する「もみ殻」を原料の一部として使用しております。また、もみ殻を主原料とした「もみ殻消臭ペレット」も販売しており、SDGsに貢献する環境配慮型商品の拡販を進めております。

これからも、ペットとその飼い主さまが笑顔になれるような商品やサービスを提供し続けてまいります。



システムトイレ用珪物ペレット

主力商品

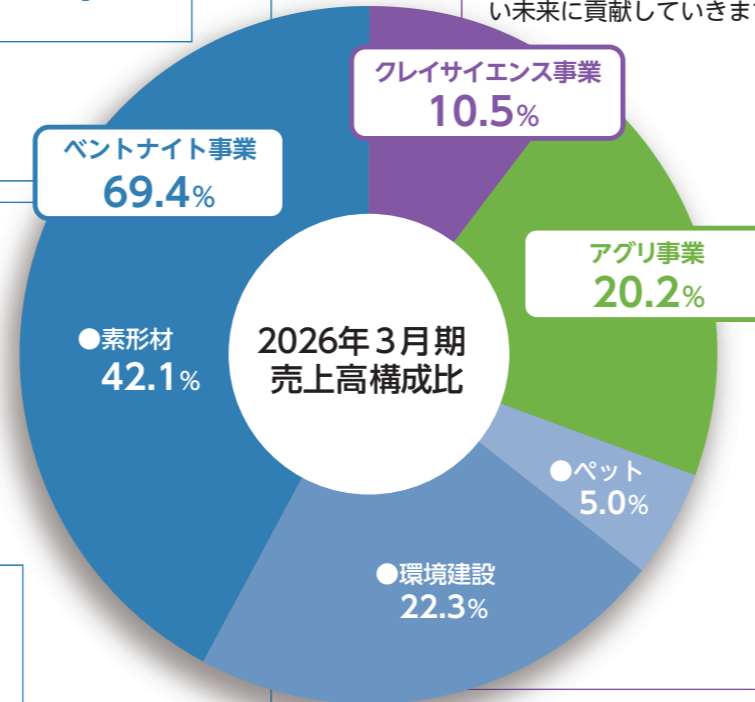
- ペレットタイプ**
 - 猫砂1番超消臭
 - 猫砂1番大粒
- 破碎タイプ**
 - 猫砂1番
 - 猫砂1番金印
- 細粒タイプ**
 - 猫砂1番消臭+エコ
- システムトイレ用リフィルペレット**
 - システムトイレ用珪物ペレット
 - もみ殻消臭ペレット
 - におわないチップ

クレイサイエンス事業部門 売上高 1,788百万円

当事業の主力製品である「クニピア」は、ベントナイトの主成分である粘土鉱物「モンモリロナイト」を高純度に精製したもので、セラミックス分野や食品包装フィルムの酸素ガスバリア分野、塗料の増粘・難燃用途などの工業製品や医薬・化粧品分野などの材料として幅広く活用されています。もう一つの主力製品である合成粘土「スメクトン」は、天然粘土とは異なる優れた増粘性と透明性から、化粧品をはじめとする無機系高機能増粘剤として利用されており、さらに、有機加工により親有機溶媒性を付与した「有機化スメクトン」は、電子デバイス用途で需要が拡大しております。

また、いわき研究所と連携し、産学共同研究を通じて次世代二次電池や細胞培養技術など粘土(クレイ)の新たな機能特性の開発を推進していくとともに、開発品である三次元細胞培養添加剤「Kuni-Grow+」や工業用研磨剤「クニシャイン」は、将来の主力製品として市場開拓を進めていきます。

さらに、ベントナイトの高い吸着性能を活かした飼料添加剤「ダブルボンド」「クニボンドMA」などの販売も国内外で強化してまいります。本製品は、カビ毒だけでなくタンパク質由来の毒素にも効果があり、今後、畜産分野における予防医療のニーズも視野に入れてまいります。加えて、赤潮防除剤「クニボンドRT」や成長促進肥料「ペプチオン」を通じて、農林水産分野における食料資源の安定供給にも貢献してまいります。当事業は、クレイの機能を最大限に活かした製品開発を通じて、お客さまと社会のより良い未来に貢献してまいります。



三次元細胞培養添加剤「Kuni-Grow+」



ICI ジャカルタ 2026に出展

主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「ダブルボンド」
- 「モイストナイト」シリーズ
- 「クニボンドMA」
- 「スメクトン」シリーズ
- 「クニボンドRT」
- 環境保全処理剤
- 早蕨(さわらび)



クニシャイン/表面技術協会にて優秀講演奨励賞を授与

アグリ事業部門 売上高 3,444百万円

製剤技術に強みを持つ当社グループでは、農業加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農業メーカーなどから農業の加工を受注しています。

農業業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

また、水稻栽培における種子コーティング技術にも注力しております。当技術の活用により、生産者の高齢化や人手不足といった社会課題の解決に貢献してまいります。

併せてITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足度の向上を目指してまいります。

※クロスコンタミネーション：製造過程で農業製品同士が混じり合うこと

主力商品・サービス

- 農業受託加工
- 農業キャリアー(基剤)
- フロアブル製剤用原料
- グレー細粒剤
- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- クニゲルV1
- 天竜



自動包装設備



X線検査装置

Q 2026年3月期の業績についてお聞かせください。

A 2026年3月期の国内経済はトランプ関税の影響や労働力不足、物価高等の影響により一部に弱い動きがみられましたが、賃上げや高水準の企業収益を背景とした底堅い設備投資が景気を下支えし、緩やかな回復基調が継続した一年でした。

当社グループにおきましては、クレイサイエンス事業における主力製品の需要減少がみられたものの、環境建設分野の地熱発電向けやアグリ分野の水稲用除草剤などが好調に推移いたしました。また、コストダウンへの取り組みを進めるとともに、より付加価値の高い製品の提案や適切な価格改定を行うことにより、売上高および利益の確保に努めてまいりました。さらに、生産拠点を中心に、安全な職場環境の構築を図ってまいりました。

その結果、売上高は170億75百万円(前期比8.7%増)、営業利益は16億2百万円、(同25.1%増)、経常利益は19億54百万円(同23.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は13億40百万円(同24.4%増)となり、3期連続の増収増益となりました。

Q 新中期経営計画(2027年3月期～2029年3月期)についてお聞かせください。

A ホルムズ海峡の封鎖により原油の9割超を中東に依存してきた日本の構造的脆弱性が浮き彫りになり、今後は原油調達先の多角化が進むのと同時に、エネルギー政策の再構築が求められます。人口知能(AI)向けデータセンターによる電力需要の急増をにらみ、電力供給の安定化のためグリーンエネルギーとして原子力発電(小型原発:SMR含む)の再稼働お

よび再生可能エネルギーの普及拡大に弾みが付くことが予想され、当社の事業環境にとって追い風になると考えています。

このような環境のもと、当社グループでは「過去にとらわれない柔軟な発想で当社グループの強みを生かした差別化戦略の推進」を基本方針として掲げ、全社一丸となって中期経営計画に取り組んでまいります。具体的には脱炭素関連の地熱発電向けや放射性廃棄物処理案件、国土強靱化のための社会インフラ整備需要の成長分野を確実に取り込み、先端機能材料等の開発を加速し、新規分野に係る収益の早期実現を図ってまいります。また、安全対策の強化やDX推進およびAI活用に向けた体制整備に努め、経営基盤を強化してまいります。

こうした活動により、最終年度2029年3月期の連結業績における売上高は200億円、営業利益は26億円、ROEは8%以上を目指してまいります。

Q 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A 2026年3月期は3期連続の増収増益となり、売上高営業利益率も改善してまいりましたが、まだまだ満足できる水準ではありません。

現在、様々な分野において、「未来が過去の延長線上には無い時代」=「不連続社会」へと変わりつつあります。そのような不連続社会において、過去にとらわれていては今後の成長は望めません。新たな経営体制のもと、柔軟な発想でベントナイトという特徴のある機能を生かした製品の開発を推進し、より一層の差別化を図ってまいります。

株主・投資家の皆さま方におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、引き続き宜しくお願い申し上げます。

経営理念

- 『経世済民』の理念に基づき、経済的側面から國の繁栄に貢献
- ベントナイトという自然の恵みを最大限に活用し、社会の為に役に立つ商品・サービスを提供

外部環境を踏まえた長期ビジョン

産業変革を支える機能材企業として進化する

- ▶ベントナイトと有機的関連のある事業の展開
- ▶ニッチトップの優位性を活かした差別化の推進
- ▶エネルギーやライフサイエンス、AI関連等の成長領域への拡張
- ▶資源産業特有の制約を前提とした品質向上・資源確保
- ▶経営管理の高度化、経営戦略を実行できる人材の育成

中期経営計画 基本方針・重点戦略

過去にとらわれない柔軟な発想で、当社グループの強みを生かした差別化戦略を推進

脱炭素関連、国土強靱化関連等の成長分野への注力

- 地熱発電/放射性廃棄物処理案件の継続的獲得(ベントナイト事業 環境建設分野)
- 社会インフラ整備需要の取り込み(ベントナイト事業 環境建設分野)

新規事業領域の創出・拡大

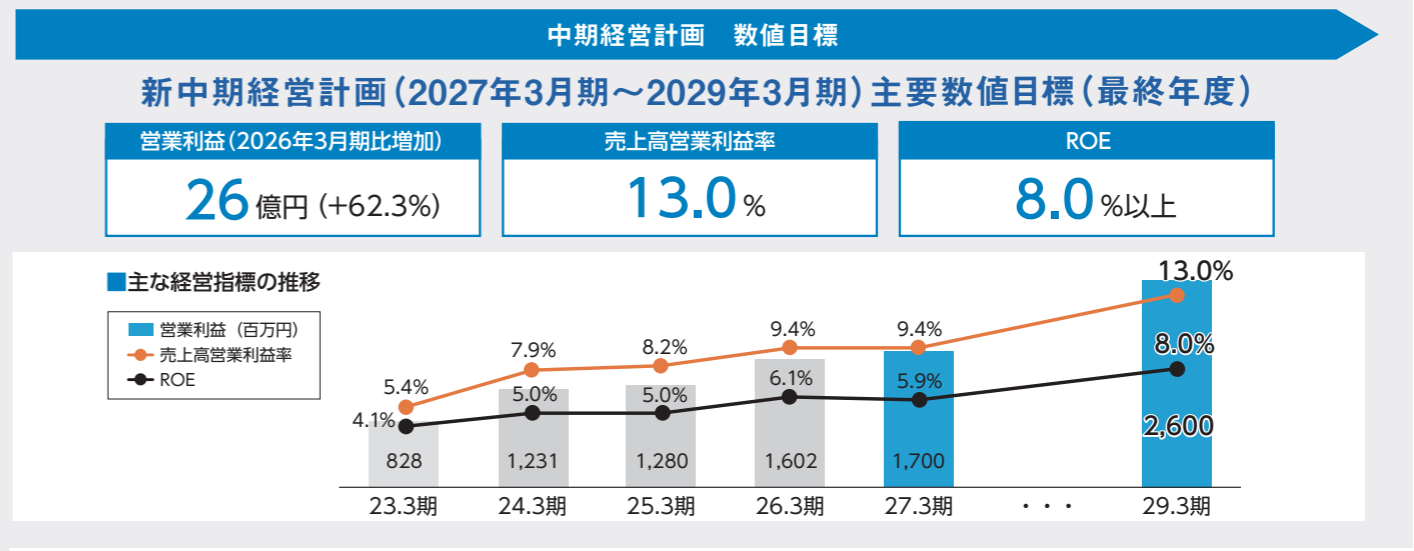
- 種子コーティングの受託拡大(アグリ事業)
- 蓄電デバイス、工業用研磨用途への参入(クレイサイエンス事業)
- 三次元細胞培養技術の試薬・創薬分野への展開(クレイサイエンス事業)

海外市場展開の促進

- アジア市場での販売強化(ベントナイト事業 素形材分野)
- 先端機能材料のアジア・欧米市場への展開(クレイサイエンス事業)

経営基盤強化

- 安全対策の強化
- 新たな採掘技術の開発
- 国内新鉱区開発投資
- 人材投資およびDX推進



成長が期待される事業領域

■地熱発電 ベントナイト事業

地熱発電は、CO₂をほとんど出さずにエネルギーを作り出すことができるクリーンな発電方法です。地上で降った雨は、地下の高温マグマ層まで浸透すると、マグマの熱で蒸気になって地下1,000m～3,000m付近に溜まります。井戸などを掘ってこの高温の蒸気でタービンを回して発電するのが、地熱発電の一般的なしくみです。地下1,000mを超える井戸などを掘削する際に、ベントナイトを活用して掘削孔の壁に泥壁を形成することで、崩壊を防止しています。

■三次元細胞培養技術 クレイサイエンス事業

三次元細胞培養は、古くから行われている平面培養(二次培養)では得られない高い細胞活性が見られることから、薬物試験や、動物実験の代替、再生医療など、様々な分野で注目されている培養法です。当社は、三次元培養を簡便に行うための添加剤「Kuni-Grow+」を大阪大学との共同研究で開発いたしました。癌細胞実験において、従来の二次培養向けの基本的な培地に添加するだけで、細胞株を効率よく三次元的に培養し、また、高価な培地や容器が不要となるため培養実験を経済的に行うことが可能となります。癌細胞だけでなく様々な細胞培養への活用に向け、研究開発を継続し、三次元細胞培養を通じて医学発展に貢献できる培養ビジネスのモデル確立を目指しています。

■低レベル放射性廃棄物処理 ベントナイト事業

原子力発電などで発生した低レベル放射性廃棄物の処理・処分は、核燃料サイクルの中で重要な役割を担っているとともに、老朽化した原子力発電所の解体などにおいても必要とされています。ベントナイトはこれらの処分において、廃棄物からの放射性物質の漏えいを防ぐための遮水性亀裂などを充填する自己シール性など様々な性能が期待でき、充填材、緩衝材の候補材料となっています。当社では30年以上前から、この分野において、試験材料の提供や受託試験研究などを続けております。

■種子コーティング技術 アグリ事業

種子コーティングとは、種子の表面にさまざまな物質をコーティング(被覆)する農業技術であり、発芽や初期生育を助ける目的で行われています。主に水稲において、種子コーティングの活用により直播栽培*の普及が促進され、農業生産者の減少や高齢化が課題となっている我が国において、農業生産の省力化やコストダウンにつながる事が期待されています。当社が長年に亘り培ってきた農業加工における製剤技術を応用し、時代の変化に対応できる新しいコーティング技術の確立を進めています。

*直播栽培: 苗を育てずに田んぼや畑に種を直接撒く栽培方法

サステナビリティへの取り組み

当社グループにおけるサステナビリティの考え方・基本方針

当社グループは「経世済民」の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品やサービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。

当社グループが中核事業として取り扱うベントナイトは、自然環境への負荷が少なく、生命体と環境にやさしい無機鉱物です。この貴重な資源を科学し、未来のニーズを創造することで、社会への価値を提供していきたいと考えています。

当社グループの技術を活用して、廃棄物処理などの社会課題の解決や、新たな産業を支援・創出していくことがESGへつなげる取り組みと考えており、事業活動を通じて社会的な目標であるSDGsの達成を目指しております。

環境 (Environment)



●環境へ配慮した取り組みを進めてまいります

- ・自社CO2排出量の低減
- ・循環型社会の実現を目的とした静脈産業への貢献
- ・持続可能な社会に向けた製品の一層の研究・開発の促進

社会 (Social)



●人材投資の強化、労働環境を整備し、地域社会に貢献してまいります

- ・AI教育やRPA研修の推進など人材投資の強化
- ・女性活躍推進法の推進
- ・育児・介護休暇、年次有給休暇等の取得推進
- ・高齢者雇用安定法に適切に対応し、長く働ける環境の整備
- ・各拠点の経済活性化のため、地元の自治体や企業との協力

ガバナンス (Governance)



●リスクマネジメントを強化し、持続可能な経営を目指します

- ・取締役会の監査・監督機能の一層の強化のため、監査等委員会設置会社の形態を採用
- ・取締役会の機能の一層の向上を図るため、取締役会の実効性評価を開始
- ・内部通報制度の実効性向上のため、独立した社外の内部通報窓口を設置
- ・取締役会の透明性向上のため、独立役員を3分の1以上選任(4名/11名)

トピックス

「システムトイレ用鉱物ペレット」の販売を開始



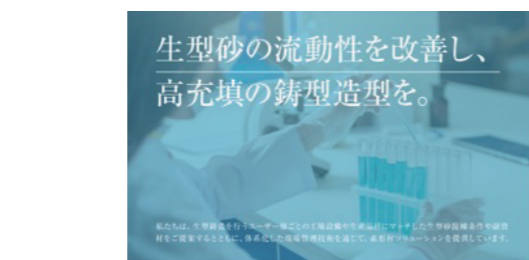
当社のペット事業においては、従来より猫トイレ用鉱物系ペレットを主力商品として展開しておりますが、従来品とは用途を異にするシステムトイレ用の鉱物系ペレットを新たに開発し、販売を2026年度下期より開始いたします。

本製品は、システムトイレ市場の成長に対応するとともに、当社の強みである鉱物加工技術を活かした高機能製品として位置づけており、価格競争に左右されにくい事業基盤の強化を図っております。

【本製品の特長】

- 主原料であるベントナイトと消臭剤のW効果により、極めて高い消臭効果を実現しました。
- 独自製法により撥水効果を付加。尿を素早く通過させ、ニオイのもとを残しません。
- リサイクル材の可燃素材を使用。可燃ゴミとして処分できます。

生型砂用充填性改良剤「フィルリキッドKK」の拡販を推進中



フィルリキッドKK
生型砂用充填性改良剤
KUNIMINE INDUSTRIES KK Liquid KK

当社は、生型砂用充填性改良剤「フィルリキッドKK」を開発し、鑄造分野における新たな付加価値提案を進めています。

本製品は、生型砂混練時に少量添加することで水分を均一に分散させ、流動性と鑄型充填性を向上させる点に特長があります。これにより、造型不良や設備トラブルの低減、鑄型精度の向上などが実ラインで確認されており、鑄物品質の改善と生産性向上に寄与しています。

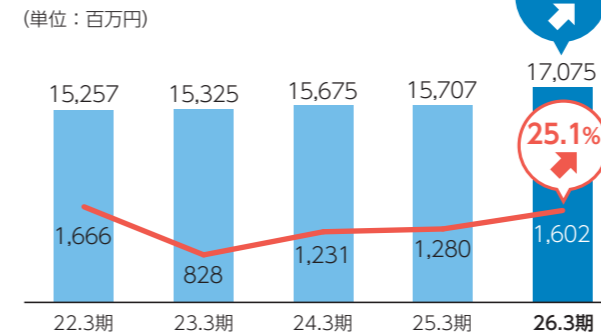
現在ユーザー評価および量産採用が進展しており、今後は市場拡大を図り、収益基盤の強化につなげてまいります。

機能や効果の詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

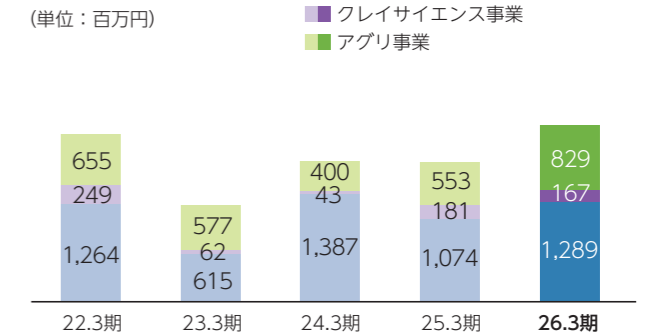
https://www.kunimine.co.jp/topix/research_development/a23

財務ハイライト (連結)

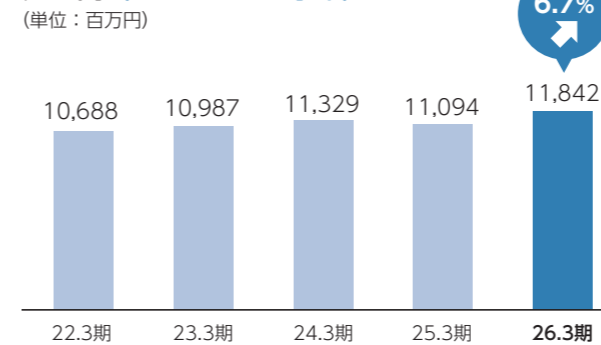
売上高・営業利益



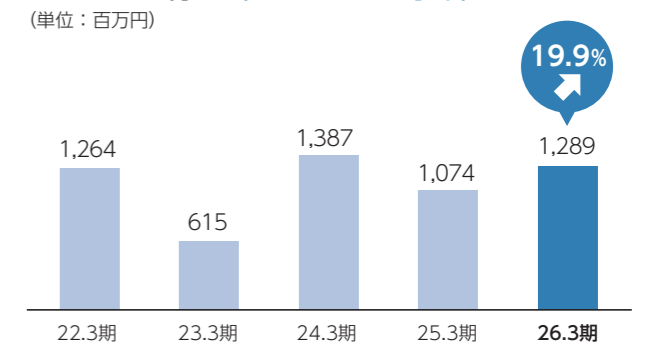
セグメント別利益



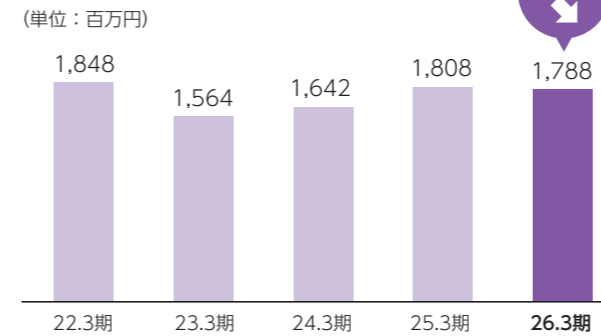
売上高 (ベントナイト事業)



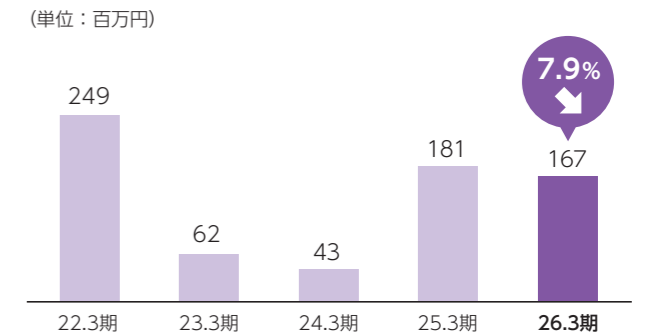
セグメント利益 (ベントナイト事業)



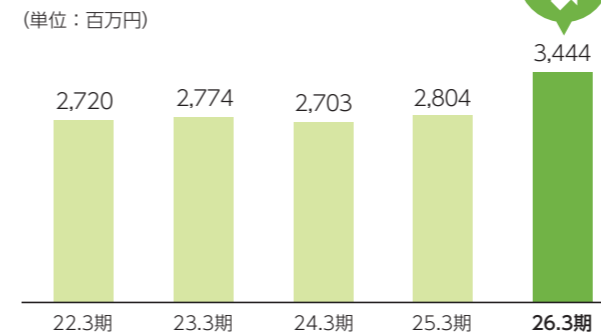
売上高 (クレイサイエンス事業)



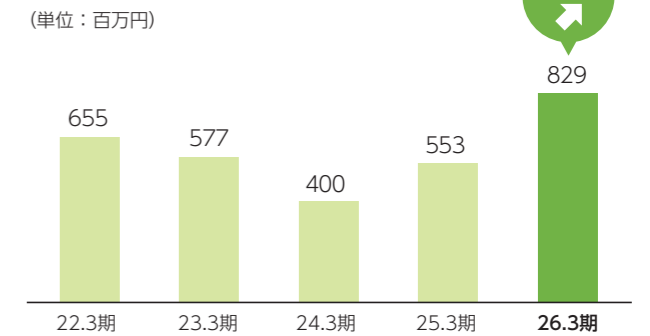
セグメント利益 (クレイサイエンス事業)



売上高 (アグリ事業)



セグメント利益 (アグリ事業)



1 本社
〒101-0032
東京都千代田区岩本町一丁目10番5号
(TMMビル3F)
電話 03-3866-7251 (代表)

2 名古屋支店
〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅四丁目3番10号
(東海ビル5F)
電話 052-587-5232

3 大阪支店
〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原四丁目4番64号
(新大阪千代田ビル2F)
電話 06-6392-4581

4 黒磯研究所
〒325-0013
栃木県那須塩原市鍋掛1085番地454
電話 0287-64-1981

5 いわき工場・研究所
〒972-8312
福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番5号
(常磐鹿島工業団地内)
電話 0246-44-7100

6 左沢工場
あてらざわ
〒990-1101
山形県西村山郡大江町
大字左沢782番地
電話 0237-62-2255

7 蔵王工場
〒989-0916
宮城県刈田郡蔵王町
遠刈田温泉字下田6番地
電話 0224-34-2011

8 御津工場
みと
〒441-0314
愛知県豊川市御津町
御幸浜一丁目1番17
(御幸浜企業団地内)
電話 0533-76-3107

9 太田工場
〒313-0008
茨城県常陸太田市増井町
字上台166番地
電話 0294-72-2251

10 小名浜工場
〒971-8184
福島県いわき市泉町
黒須野字江越246番7号
(小名浜臨海工業団地内)
電話 0246-56-5890

11 郡山工場
〒963-0531
福島県郡山市日和田町
高倉字榎田2番地1
(郡山北部工業団地内)
電話 024-983-9201

グループ会社

12 クニマイン株式会社 (株式100%保有)
ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒990-1271 山形県西村山郡大江町大字月布722番地9号
電話 0237-64-2121

13 川崎鉱業株式会社 (株式100%保有)
ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒989-1502 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字上ノ台6番地1号
電話 0224-84-4661

14 関ベン鉱業株式会社 (株式100%保有)
ベントナイトの採掘、製造および販売
〒959-4622 新潟県東蒲原郡阿賀町白崎1573番地
電話 0254-99-2028

15 クミネマーケティング株式会社 (株式100%保有)
物流センターの運営など
〒279-0001 千葉県浦安市当代島一丁目1番25号(板徳ビル3F) 電話 047-711-1761

KUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD. (株式49%保有)
ベントナイト製品の販売、ベントナイト用途周辺関連商材の販売など
2 Jasmine City Building, 12th floor, Soi Sukhumvit23 (Prasarnmitr),
Klongtoey-Nua,Wattana, Bangkok 10110, Thailand
電話 +66-2-612-7302

TRANS WORLD PROSPECT CORPORATION (株式71.43%保有)
米国ベントナイト採掘会社への出資
505 Con Roy Building 141 South Center Street Casper, Wy 82601 U.S.A

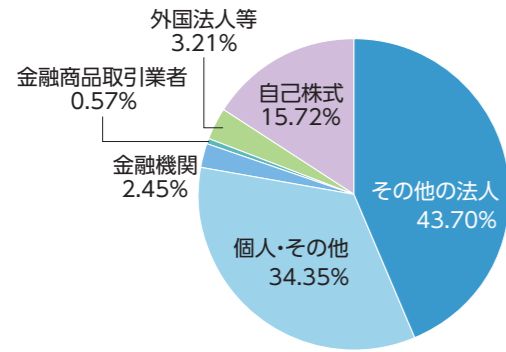
発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 14,450,000株
株主数 31,287名

大株主 (上位10名)

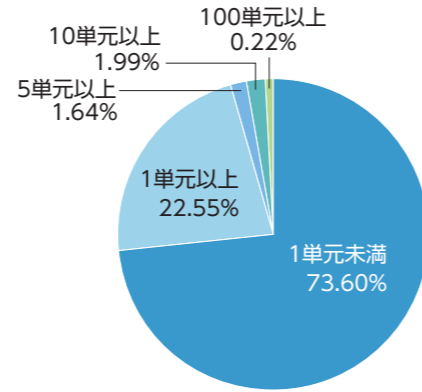
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
クニミネエンタープライズ株式会社	4,909	40.31
クニミネ工業取引先持株会	780	6.41
日本化薬株式会社	332	2.73
クミアイ化学工業株式会社	329	2.71
川上 悟	266	2.19
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	208	1.71
日昭株式会社	198	1.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	161	1.33
株式会社三菱UFJ銀行	160	1.31
クニミネ社員持株会	101	0.84

(注) 持株比率は自己名義株式(2,271,648株)を控除して計算しております。

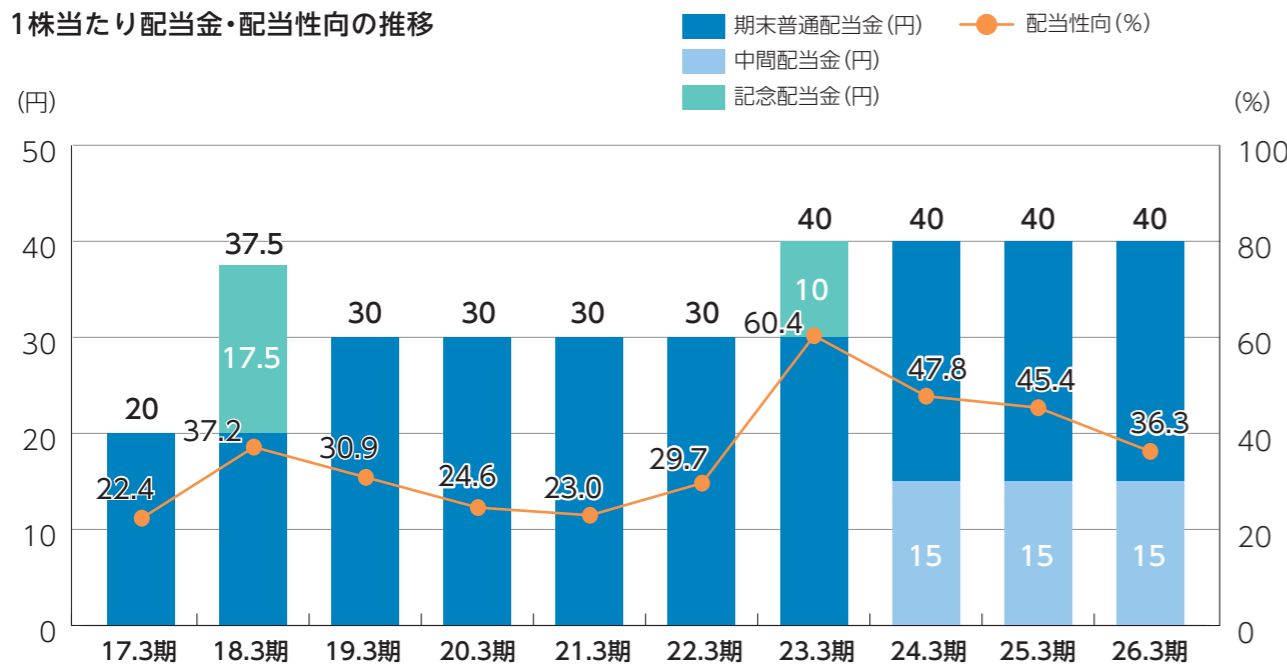
所有者別
株式数分布状況



所有数別
株主数分布状況



1株当たり配当金・配当性向の推移



商号 クニミネ工業株式会社

代表者 代表取締役社長
友山 貴之

本社 〒101-0032
東京都千代田区岩本町一丁目10番5号
03-3866-7251 (代表)

設立 1943年(昭和18年)6月1日

資本金 16億1,780万円

従業員数 単体：228名 (2026年3月31日現在)
連結：277名 (2026年3月31日現在)

会社の主な事業目的

- 鉱業
- 岩石および粘土類の採取、加工ならびに販売
- 無機・有機の工業薬品、農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品の製造・加工ならびに販売
- 食品・食品添加物、飼料・飼料添加物の製造・加工ならびに販売
- 水処理剤・廃汚泥水処理剤および処理装置の製造・販売ならびに施工および運営
- 粉粒体・鑄造・土木用機器装置等に関連するプラントの設計・施工および運営ならびにその機器類および資材の製造販売

役員一覧

代表取締役社長	友山 貴之
常務取締役 (資源探査部長兼アグリ事業部長)	玉木 悟史
常務取締役 (クレイサイエンス事業部長)	黒田 克弘
常務取締役 (ベントナイト事業部長)	塗師尾 努
取締役 (経営戦略部長、海外事業推進部管掌)	高田 裕二
取締役	國峯 宏美
取締役	鷲巢 信太郎 (社外)
取締役 (常勤監査等委員)	滝田 博
取締役 (監査等委員)	堀越 孝 (社外)
取締役 (監査等委員)	赤石 健 (社外)
取締役 (監査等委員)	原田 崇史 (社外)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.kunimine.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

